

9月定例会

平成19年第3回定例会は、9月4日に招集され21日まで18日間の日程で開催されました。市長から提出された案件は、条例制定1件、条例の一部を改正する条例1件、廃止条例1件、平成19年度一般会計及び特別会計補正予算24件、人事案件10件、その他2件、平成18年度一般会計、特別会計歳入歳出決算及び企業会計決算の認定27件でした。これらの案件は、概ね所管の常任委員会、決算審査特別委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。一般質問では、13人の議員が質問に立ち市当局の考えを質しました。

条 例

小学生入院医療費の助成に関する条例の制定

小学生の入院医療費を助成することにより、保護者の負担を軽減し、小学生の健全な育成と福祉の増進に寄与するため定めました。

平成19年10月診療分の入院医療費から、助成されます。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

市公立学校施設等検討委員会設置規則に基づき設置している、学校施設等検討委員会委員について、非常勤特別職としての身分を明確にし、報酬を支給し、あわせて条例中の条文の整理をするため、条例の一部を改正しました。

ひまわり園条例の廃止

福島県地域療育センター支援事業実施要綱が廃止されたことに伴い、当該施設の設定形態が変更となったため廃止しました。

補正予算

一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ2億5424万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を259億3457万1千円としました。

歳出の主なものは、保原小学校建設基本設計等6735万6千円、霊山児童館建設実施設計等6338万3千円、災害復旧事業3849万3千円、住民参加型市場公募債経費144万5千円、子育て相

としました。平成18年度退職者医療療養給付費交付金の精算による返還金確定に伴う補正です。

介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ9084万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を43億2189万6千円としました。

歳入の主なものは、介護給付費準備基金積立金に7000万円、介護サービス確定に伴う国庫負担金返還金等に2105万4千円です。

歳入の主なものは、調整交付金4267万5千円、支払基金交付金1535万8千円、繰越金7478万円です。

梁川簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ8万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億7336万5千円としました。平成18年度決算における繰越金の確定、及び測量設計等委託料の増による補正です。

月館簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ556万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を9695万7千円としました。

歳入の主なものは、ライフ

ライン機能強化緊急時用連絡管設計委託料525万円で、これを賄う歳入の主なもの、簡易水道負担金210万円、前年度繰越金346万6千円です。

公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ54万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を16億7451万9千円としました。平成18年度決算における繰越金の確定、及び県補助金の確定による補正です。

歳出の主なもの、公共下水道管理費44万4千円で、歳入の主なものは、下水道事業県補助金255万円、繰越金6007万1千円です。

栗野地区農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ568万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2098万円としました。平成18年度決算における繰越金の確定による補正です。

歳出の主なものは、財政調整基金積立金491万2千円、電算業務委託料60万円で、歳入の主なものは、繰越金568万9千円です。

梁川工業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ38万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億7743万3千円としました。平成18年度決算における繰越金の確定による補正です。

霊山工業団地分譲特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ9万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を28万5千円としました。平成18年度決算における繰越金の確定による補正です。

月館宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ94万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1268万6千円としました。平成18年度決算における繰越金の確定による補正です。

つぎだて花工房特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ738万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億2708万6千円としました。

歳出の主なものは、交流施設管理事業に243万4千円、花工房事業費に88万2千円で、それを賄う歳入は、繰越金738万6千円です。

梁川財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ2万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を64万1千円としました。

堰本財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ2万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を14万2千円としました。

白根財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ38万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を140万7千円としました。

山舟生財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ4万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を101万4千円としました。

富野財産区特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ5万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を187万1千円としました。

五十沢財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ5万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を95万2千円としました。

富成財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ33万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を168万2千円としました。

柱沢財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に変更はなく、歳入区分の入替をしました。

上保原財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ53万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を92万1千円としました。

金原田財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ28万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を182万9千円としました。

掛田財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ51万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を88万3千円としました。

小国財産区特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ20万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を94万1千円としました。

以上、いずれの財産区も、平成18年度決算における繰越金の確定により、財源調整及び歳入歳出予算を補正しました。

水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出の既決予定額に補正予定額36万8千円を追加し、収益的支出を17億6219万3千円とし、資本的支出の既決予定額に補正予定額210万円を追加し、資本的支出を10億1349万3千円としました。

決算

平成18年度一般会計歳入歳出決算ほか26件の決算認定

平成18年度各会計決算が認定に付され、決算審査特別委員会を設け審査しました。その結果、27件のいずれの会計も認定するものとなりました。(決算の概要は「だて市政だより10月号」をご覧ください。)

人事案件

梁川財産区管理会委員の選任同意

六戸 秀男氏(再任)
齋田 公重氏(新任)
渡邊 幸雄氏(新任)
秋葉 哲郎氏(再任)
渡邊 昭男氏(新任)

安藤 要二氏（再任）
山際 一男氏（新任）
**堰本財産区管理会委員の
選任同意**

鈴木 幹夫氏（再任）
山下金之助氏（新任）
大竹 哲朗氏（新任）
渡邊 清藏氏（新任）
古山 賢一氏（新任）
幕田 孝一氏（再任）
佐藤 隆雄氏（新任）
**白根財産区管理会委員の
選任同意**

三浦 郁夫氏（再任）
三浦 彰氏（再任）
齋藤 和雄氏（再任）
齋藤 初吉氏（新任）
齋藤 春治氏（新任）
引地喜久雄氏（再任）
霜山 六夫氏（新任）
**山舟生財産区管理会委員
の選任同意**

幕田 繁氏（再任）
齋藤 福幸氏（新任）
八巻 高男氏（再任）
八巻 陽吉氏（再任）
齋藤 亮氏（新任）
八巻 昇氏（新任）
佐藤 行博氏（新任）
**富野財産区管理会委員の
選任同意**

佐藤 照雄氏（新任）
遠藤 貞夫氏（新任）
氏家 義昭氏（再任）
穴戸 久徳氏（新任）

三浦 正喜氏（新任）
三浦 幸二氏（新任）
佐々木友治氏（新任）
**五十沢財産区管理会委員
の選任同意**

曳地 東弘氏（新任）
遠藤 定良氏（新任）
岡崎 和信氏（再任）
佐藤 一志氏（再任）
岡崎 光氏（再任）
引地 慶弘氏（新任）
岡崎 良孝氏（再任）
**富成財産区管理会委員の
選任同意**

菅野 温氏（再任）
佐藤 和昭氏（新任）
菅野 計氏（新任）
菅野 欣一氏（再任）
井上 賢治氏（新任）
佐久間 豊氏（再任）
佐藤 金一氏（新任）
**柱沢財産区管理会委員の
選任同意**

菅野 賢一氏（再任）
菅野 信治氏（再任）
佐藤三代治氏（新任）
松浦 清氏（新任）
石神 正男氏（新任）
渡邊 一男氏（新任）
柳沼 正治氏（新任）
**上保原財産区管理会委員
の選任同意**

石田 耕起氏（再任）
佐藤 春三氏（再任）
松本 昭榮氏（再任）

佐藤 幸一氏（再任）
樋口 孝家氏（再任）
水口 英次氏（再任）
佐藤 新治氏（新任）

**金原田財産区管理会委員
の選任同意**

佐藤 隆士氏（再任）
秋葉 清彦氏（新任）
菅野 秀雄氏（新任）
長沢 一四氏（再任）
長澤 勝利氏（再任）
本間 將之氏（新任）
大橋 正幸氏（再任）

その他

市道路線の廃止

旧町の道路台帳を同一の基準に統一し、新たに道路台帳を整備するため、3856全路線を廃止しました。

市道路線の認定

廃止した路線について、同一の基準により路線番号、路線名及び合併による行政界の接続道路の見直し等を行い、新たに3830路線について認定しました。あわせて河川改修事業等に伴い3路線を認定しました。

意見書

9月定例会で可決した次の

意見書を政府関係機関、国会等に送りました。

**道路財源の確保に関する
意見書**

**子どもの医療費助成制度
の確立・拡充を求める意
見書**

10月臨時会

第4回臨時会は、10月9日に招集され、1件の議案を原案どおり可決しました。

補正予算

一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ3億477万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を262億3934万4千円としました。

歳出の主なものは、農林水産施設災害復旧費に1億3516万3千円、土木施設災害復旧費に1億3176万1千円、農地災害復旧事業費に1179万、宅地関連災害復旧事業費に1560万円です。

これを賄う歳入は、国庫支出金8652万5千円、市債8130万円で、その他不足する財源は財政調整基金繰入金1億3694万8千円を充当しました。

特別委員会

平成18年度決算審査特別委員会（27名）

◎安田 豊一 ○松本 善平
議長、議会選出監査委員を除く議員全員

〔設置年月日〕

平成19年9月12日

9月定例会に提案された議案の決算認定27件について審査するために設置されました。

〔審査日〕

9月13日・14日・18日・19日

嘱託職員の採用等調査特別委員会（12名）

◎八巻 善一 ○清野 公治

佐々木 彰 大橋 良一

佐藤 実 中村 正明

高橋 一由 熊田 昭次

佐々木英章 半澤 隆

齋藤 剛一 佐藤 勲

〔設置年月日〕

平成19年9月12日

本年4月に他の臨時職員賃金とはかけ離れた高額賃金の嘱託職員が採用された件について、事務検査を要するものとして決議し、設置されています。

（◎委員長 ○副委員長）